

京都新聞

5月22日
水曜日

京都新聞社
The Kyoto Shimbun Co., Ltd.

発行所 〒604-8577
京都市中京区烏丸通夷川上ル

“ガラスの枯れ山水” 参道に

法然院にアート作品完成

法然院(京都市左京区)の参道に、ガラスのオブジェを使い「枯れ山水」を表現したガラスアートが完成した。「循環する命とながっていく宇宙」をテーマに、リサイクルガラスを用いた作品が訪れる人の注目を集めている。

法然院の梶田真章住職(62)と親交のある千葉県在住のガラス造形作家、西中千人さん(54)が制作した。ガラス瓶メーカーの協力を得て回収したガラス瓶を溶かし固め、オブジェに仕上げた。高さ約20センチ、1・8層の多様なオブジェが、法然院の参道約40層に設置され、周囲にコケや石を配置して「枯れ山水」に見立てている。

「法然院という場があつてこそできた作品。時間とともに輝きを変える作品を楽しんでほしい」と西中さん。

法然院の梶田真章住職(62)と親交のある千葉県在住のガラス造形作家、西中千人さん(54)が制作した。ガラス瓶メーカーの協力を得て回収したガラス瓶を溶かし固め、オブジェに仕上げた。高さ約20センチ、1・8層の多様なオブジェが、法然院の参道約40層に設置され、周囲にコケや石を配置して「枯れ山水」に見立てている。

「法然院という場があつてこそできた作品。時間とともに輝きを変える作品を楽しんでほしい」と西中さん。

法然院の梶田真章住職(62)と親交のある千葉県在住のガラス造形作家、西中千人さん(54)が制作した。ガラス瓶メーカーの協力を得て回収したガラス瓶を溶かし固め、オブジェに仕上げた。高さ約20センチ、1・8層の多様なオブジェが、法然院の参道約40層に設置され、周囲にコケや石を配置して「枯れ山水」に見立てている。

「法然院という場があつてこそできた作品。時間とともに輝きを変える作品を楽しんでほしい」と西中さん。



参道にリサイクルガラスを用いた作品を設置した西中さん

(京都市左京区・法然院)